

## 東日本大震災義援金・海外救援金のご報告

～東日本大震災の義援金の受付は9月30日まで～

東日本大震災発生から約1年5カ月。いまだ多くの義援金や海外救援金が日本赤十字社に寄せられています。これまでに皆さまからお預かりした義援金は、全額を各被災道県の義援金配分委員会に送金し、それぞれの市町村を通じ被災者の方々に届けられています。

### <東日本大震災義援金(平成24年7月12日現在)>

【日赤受付】 281万3,368件 3,189億8,575万7,971円  
 (内、兵庫県支部 10億7,284万3,907円)(毎月10日、本社へ送金)  
 【送 金】 被災15都道県 3,566億9,417万2,722円  
 ※本社からの送金額は日本赤十字社と中央共同募金会の両団体の合計額です。

送金例) 宮城県への配分状況(平成24年6月15日現在) 1,747億3,722万2,730円  
 ※日本赤十字社、中央共同募金会、日本放送局、NHK厚生文化事業団からの配分額(宮城県のHP参照)  
 第3次までの配分(1人及び1世帯):死亡・行方不明者95万円、住家全壊85万円、半壊45万円、母子・父子世帯10万円等、支給対象者、世帯へ支給。

また、世界各国赤十字社・赤新月社、地域等から日本赤十字社へ送金いただいた救援金は、被災者の復興支援のために使われています。仮設住宅へ移られた方々への生活家電セットの他、子どもたちへの教育支援として、学校へ仮設体育館の建設や保健室の整備、ボールや体育用品、パソコン、学校給食に必要な食器や冷蔵庫などの整備も行っています。



仮設体育館で元気に遊ぶ子どもたち



新しい身長計で身体測定

### <海外救援金(平成24年3月現在)>

【受付】95カ国(地域等含む) 963.3億円

※詳しくは日本赤十字社ホームページで [www.jrc.or.jp](http://www.jrc.or.jp)

## 講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

夏といえば熱中症。まずは予防からです。こまめに水分補給をし、外出時には帽子をかぶるなどの対策をとりましょう。水の事故にも気をつけて、楽しい夏を過ごしてください。

安心して毎日を送るためには健康管理や事故防止が大切。そこで、もしもの時にはケガ人や病人を手当するための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか。

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るためのお手伝いができるよう、救急法等の講習の普及活動に努めています。

| 内 容                      |          | 開 催 日   |
|--------------------------|----------|---|
| 救急法基礎講習                  |          | 10月15日(月)<br>11月10日(土)  |
| 救急法救急員養成講習(2日間)          |          | 9月22日(土・祝) 23日(日)   |
| 救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間) |          | 10月 6日(土) 7日(日) 8日(月・祝)<br>11月11日(日) 17日(土) 18日(日)  |
| 幼児安全法支援員養成講習(2日間)        |          | 10月10日(水) 17日(水)  |
| 健康生活支援講習(3日間)            |          | 9月23日(日) 29日(土) 30日(日)  |
| 科目別講習                    | 健康生活支援講習 | 誰もが知っておきたい介護の基礎知識<br>10月27日(土) 10:00～12:00<br>高齢者の健康管理と家庭内の事故防止と応急手当<br>10月27日(土) 13:00～15:00 |
|                          | 救 急 法    | AEDを使用した一次救命処置<br>10月27日(土) 15:30～17:30   |

講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。詳細及びその他の講習についてはホームページで。

[www.hyogo.jrc.or.jp](http://www.hyogo.jrc.or.jp)

赤十字 兵庫

# ひょうごの赤十字

2012 8月  
AUGUST

- 第46回兵庫県日赤有功会総会
- 中播磨地区赤十字奉仕団員研修会
- 全国赤十字救護班研修会
- 神戸赤十字病院 セブタコンサート
- 青少年赤十字提供プログラム
- 東日本大震災義援金・海外救援金のご報告
- 講習のご案内



## 日赤有功会総会



日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号  
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990  
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

## 第46回兵庫県日赤有功会総会



太田副支部長から感謝状を受取られる柘尾富美子さん

6月27日(水)、ANAクラウンプラザ神戸で有功会員等56人の参加により「第46回兵庫県日赤有功会総会」が開催されました。

開会に先立ち、今年4月に亡くなられた柘尾太郎前会長へ、これまでの多大なる貢献に対して、奥様の柘尾富美子さんに社長感謝状を贈呈しました。今回新会長に就任された北村喜八郎会長からは、「前会長は赤十字の活動に深い共感を持たれ、会長としても常に会員のことに気を配られていました。」と人柄を語り、また、「東日本大震災や海外での赤十字の活動を見て、それらを支えている有功会員として大変誇りに思う。今後も赤十字を積極的に支援していきたい。」と、挨拶されました。

続いて太田稔明兵庫県支部副支部長(兵庫県健康福祉部長)、神戸市長代理の雪村新之助神戸市保健福祉局長から祝辞の後、協議事項である平成23年度事業報告及び決算、平成24年度事業計画及び予算が行われ、それぞれ承認されました。

次に米寿のお祝いの贈呈。今年は大正14年(1925年)生まれの8人の方々と、出席された2人には会長からお祝いが手渡され、お元気な笑顔で喜ばれていました。

最後は、神戸赤十字病院の古東正宣放射線技師長から「放射線について」と題した記念講演。東日本大震災以降、感心を集めている放射線の話しを分かり易く話され、会員の皆さんも興味深く聞きいっておられました。



北村会長(右)から米寿のお祝いを受けられた栗山貞夫さん(中央)と野村豊稔さん(左)

## 中播磨地区赤十字奉仕団員研修会

6月24日(日)、市川町文化センターで中播磨地区赤十字奉仕団員研修会が、約100人の奉仕団員等の出席により開催されました。

奉仕団員信条朗読の後、小林中播磨地区赤十字奉仕団委員長、玉田中播磨地区長の挨拶に続き、表彰式がありました。

式典では昨年度まで中播磨地区赤十字奉仕団委員長であった中野史子様から中播磨地区長からの表彰があり、参加された奉仕団員の方々は一同に、心から感謝の意をこめて拍手をされていました。

その後、ビデオ上映に続き、日本赤十字社兵庫県支部藤原事務局長から「防災と赤十字」と題し、防災に関する講演がありました。

「すべての人びとの幸せを願い陰の力となって人びとに奉仕する」の信条どおり、日頃から熱心に活動を行われていますが、今回改めて奉仕団員それぞれに平時、災害時に対する奉仕活動への思いが高まった研修会となりました。



挨拶される小林美恵子委員長

## 全国赤十字救護班研修会

～日赤救護班の初動活動の強化・レベルアップのために～

7月14日から3日間、日本赤十字社本社主催で全国赤十字救護班研修会が、兵庫県支部を会場に開催されました。受講者は、29の支部・施設から医師、看護師、主事等79人。兵庫県からも姫路、柏原、多可、神戸赤十字病院から8人が参加。

昨年の東日本大震災では、全国の赤十字救護班が震災当日から宮城、岩手、福島等の被災地で医療救護活動を展開しました。この3日間の研修は、迅速な初動活動と各救護班の連携のとれた医療救護活動が円滑に行えるようにするためのもの。災害医療の考え方や超急性期医療に必要な技術、医療や通信などの職種別の知識の習得、さらには、こころのケア、避難所や巡回診療について、それぞれ講義や実技、グループワークを行いました。

屋外では総合実習として現場救護を実施。受講者は傷病者と救護班に分かれ、無線機での情報収集、トリアージ(傷病者判定基準)、診療、搬送等、実際の災害を仮定して、これまでの研修内容に基づいて行いました。

救護班要員それぞれが災害現場での活動を理解し、救護班同士の連携を強化することが、災害時の迅速な救護活動につながります。いつ起こるかかわからない災害に備え、今後もこうした研修や訓練を重ねていきます。



医師・看護師は傷病者の観察等を...



救護所での傷病者受入れ

## 神戸赤十字病院 七夕コンサート

～みんなの願いが叶いますように～

7月4日(水)、神戸赤十字病院で、毎年恒例の「七夕コンサート」が開催されました。今年は、コール・フローラ(コーラス)、リコーダーアンサンブル・キフエフ(リコーダー)、O.R.S(リコーダー)のグループの皆さん、総勢19人が出演。

「アヴェ・マリア」などのコーラス、「星に願いを」や「七夕さま」などのリコーダー演奏、優しい歌声と美しい音色に患者さま方も聞きいっておられました。

最後はグループの皆さんが客席の患者さまの傍へ行き、「故郷」を合唱。患者さまも一緒に元気に歌い、一足早い七夕を楽しみました。

また、会場となった1階玄関ホールに飾られた笹には、「七夕の日に退院できました。お見舞いにくれた皆に良い事がありますように」、「大きくなったらお医者さんになれますように」、「家族みんなが健康でいられますように」などの願いが込められた、たくさんの短冊が結ばれていました。



リコーダーの美しい音色に患者さまも癒され...

## 青少年赤十字提供プログラム

夏休みを目前にして、7月もたくさんの学校に参加いただきました。

AEDを使った心肺蘇生、赤十字の国際活動や国内の災害救護活動の話など、学校教育の中で赤十字の提供プログラムをご利用ください。

### 7月に参加していただいた学校

● 国際理解・平和、防災教育  
兵庫県立上郡高校

● 健康・安全  
(AEDを使った心肺蘇生等)  
神戸市立桜ノ宮中学校  
宝塚市立宝梅中学校  
兵庫県立鳴尾高校

兵庫県立西宮今津高校  
兵庫県立国際高校  
兵庫県立相生高校  
兵庫県立須磨東高校  
兵庫県立舞子高校

兵庫県立西宮甲山高校  
兵庫県立明石高校  
兵庫県立兵庫高校  
兵庫県立宝塚北高校  
兵庫県立高砂高校